

階級

印嘉 嫡子、文久二年十六歳ニテ死ス、初段。

〔台徳院殿御實紀五〕慶長十二年六月四日、將基師等、京より駿府にまかり、けふ江戸に至る。

○按ズルニ、將基所ノ事ハ、基所ト關連スルコト多シ、今彼ニ讓リテ此ニハ略セリ、參看スベシ。

〔將基奇戰上〕將基段位駒落圖

九段 八段 七段 六段 五段 四段 三段 二段 初段○駒落略

〔半日閑話三〕一六誹園立路が隨筆寢覺硯の中に

將基初段、飛車香車の兩馬を省く、二段は、飛車香落し壹番、飛車を落して一番也、三段は、飛車を落し、四段、飛車落し壹番、角行落し一番也、五段は、角行落し、六段は、角行香車落しの事也、七段、香車落し、八段、香車落しと平手の交り也、九段は、先々先といひて免狀を出す也。

〔將基自在序〕世間工於此技、而冠於六十州者、稱爲名人、又呼爲上手、古今不置其人也。

〔羅山文集五十一〕象戲圖式序

宗古謂余曰、初宗桂見信長公、公視其象戲曰、是象陣法、武人宜習知之藝也、於是改其舊名、賜名宗桂、以筭有桂馬之號也、其後一謁秀吉公、乃去奉拜、東照大神君、又拜台徳院殿大相國。○徳川秀忠 時時在御前、爲象戲者數矣、宗古預焉、恩遇不少、舉世知焉。

〔早引人物故事上〕大橋宗桂 吉田宗恂といへる醫師の男にて、天性將基に妙手ありしとぞ。

〔將基早指南序〕古しへは將基に秀たる人、いと稀なりしかば、教へ導く師もなく、好む人々は、唯己が工夫にて勉學びたるを、二百年ばかり此かたは、つぎ／＼ひらけ來て、上手ども多く世に聞えたり、近頃わが宗英 祖父宗英翁は、此道の名人にて、凡三千に餘りたる弟子を教へ諭されしかば、その中には世に名高きも多かりき。

〔象戲綱目〕象戲綱目所列名姓 凡五十人

名人